

着物で城下をゆっくり散策

第13回白石城下きものまつり

10月14～16日の3日間、「第13回白石城下きものまつり」が壽丸屋敷とすまゐひろばで開催されました。壽丸屋敷ではアンティーク着物や古布を使った作品の展示販売や着物貸し出しを開催。すまゐの広場では、着物ファッションショーや着物着付けショーのほか、市内のカップルによる花嫁行列が行われました。柔道の先生をしている花婿のため、道場の子どもたちが長持ちや振り袖を着て行列に参加。2人は訪れたたくさんの来場者や沿道の人たちから祝福を受けていました。快晴に恵まれた3日間、着物姿の人たちで城下町が彩られました。



▲幸せいっぱいの花嫁と花婿を中心に行列の参加者で記念撮影

念願の水道施設が給水開始！

湯元簡易水道通水式を開催

10月15日、小原の湯元簡易水道通水式を、スパッシュランドしろいしで行いました。明戸・小日向地区の水道は、各集落が持つ水道施設を利用していましたが、平成19年の大雨による地滑りや自然災害で施設が大きな被害を受け、現在まで応急的な給水を続けてきたもの。この状況を解消し、水道水の安定供給のため、平成25年度から国の補助を受け、新たな施設の整備を開始。工事完了となり同施設からの給水が開始されました。大浦正一明戸自治会長は「水は生活に一日も欠かせないもの。これで安心した生活が約束されました」と話していました。



▲風間前市長を初め、地元住民や関係者などが出席した通水式

見て！ こっちの方がおっきいよ～

第一幼稚園でサツマイモ掘り

10月25日、第一幼稚園でサツマイモ掘りを行いました。この日は同園の5歳児33人が参加。参加した園児たちは、本郷第3自治会と亘理町自治会のボランティア11人にサツマイモの掘り方を教えてもらいながら、元気いっぱいサツマイモを掘り起こしていました。参加した園児たちは「見て見て！ こんなに大きいのが採れたよ！」「焼きイモにして食べたいな！」などと、楽しそうに話してくれました。またこの日は、ALTのリチャード先生がサツマイモ掘りを初体験。「みんなと一緒に体験できて楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



▲夢中で大きなサツマイモを掘り起こす園児

地域に広げよう！健康とささえあいの輪

第8回白石市健康福祉まつり

10月29日、「第8回白石市健康福祉まつり」をホワイトキューブで開催しました。障がいのあるなしに関わらず地域で暮らせる社会、からだも心も健康であることの大切さに気づく社会づくりを目指して開催しているこのイベント。会場には、各種健診や車いす・手話などの体験、福祉団体による歌や太鼓の披露、作品展示などの多彩なコーナーが設けられ、約1,800人の来場者でにぎわいました。健診や手話体験をした来場者は、「生活習慣を見直すとともに、支え合いの気持ちを持つことの大切さを考える良い機会になりました」と話してくれました。



▲子どもたちも手話に挑戦！

小学生が日本の伝統文化を体験

伝統文化体験教室を開催

10月25日、古典芸能伝承の館碧水園で伝統文化体験教室を開催しました。この教室は、市内小学校10校の4年生を対象に能舞台での「日本舞踊体験」と、茶室での「茶道体験」を通して自国の文化に理解と関心を深めてもらおうと平成17年度から実施。この日は、白石第二小学校の4年生28人が、日本舞踊を若柳梅京さんから、茶道を遠藤宗清さんから指導を受けました。参加した児童は「お茶に泡をたてるのが難しかったです」「桜の花が舞うところを頭に思い浮かべながら扇子をヒラヒラさせて踊りました」と充実した表情で話してくれました。



▲能舞台の上でさくらさくらの指導を受ける白二小の児童たち

100歳おめでとうございます

佐藤なをさんに松竹梅敬老祝金

11月4日、同月8日に100歳を迎える佐藤なをさんを佐々木徹副市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。なをさんは市内のご出身。現在は孫が4人、ひ孫が7人います。介護老人保健施設で生活して約10年が経過。車いすで施設の中を自由に行き来して、大好きなテレビを見たり、職員とお話したりして楽しく過ごしています。ご家族は、長生きの秘訣を「スタッフの手厚い介護のお陰です」と感謝。好き嫌いをなく何でも食べるなをさん。この日は、お祝いに食べたい物を聞かれると「マグロが食べたい」と笑顔で話していました。



▲なをさんの長寿を祝う施設長と佐々木副市長

的に当たると嬉しいね

小原中生徒が授業で伝統文化を体験

10月28日、小原公民館弓道場で小原中学校生徒が保健体育科武道の授業で弓道を行いました。これは、弓道の基本的動作・所作を身に付けながら市指定民俗文化財の「小原の百矢納め」への理解を深めることが目的。弓道錬士6段の高橋純子さんと小原弓道愛好会（小原百矢納め保存会、小室正男会長）の指導のもと、9月末から計4回練習してきました。この日生徒たちは、28m離れた的に目掛けて矢を放っていました。生徒は「所作通りに弓矢を射ると的に当たると嬉しかったです」と話してくれました。



▲真剣な表情で弓を引いたり指導を受けたりする生徒たち

錦秋の小原に響く賑わい！

第14回秋の検断屋敷まつり

11月13日、小原の材木岩公園で「秋の検断屋敷まつり」が開催されました。毎回、趣向を凝らしたイベントが企画されるこのまつりに、子どもからお年寄りまでたくさんのお客さんが来場。景綱太鼓の演奏や地元の皆さんによるカラオケのステージ発表に会場から大きな拍手が送られたほか、だるま落としゲーム、紙ヒコーキ飛ばし競技など来場者も一緒に楽しめるイベントも実施。高橋昶同まつり実行委員長は「毎年小原の活性化のため地域で知恵を絞って開催してきました。小原の良さを皆さんに知ってもらいたいです。」と笑顔で話してくれました。



▲大人から子どもまで大勢参加しただるま落としゲーム